

不登校児童生徒サポート事業 「Web HOP」をスタート

本市は、不登校児童生徒への学習支援として、リクルート社「スタディサプリ」を活用した「Web HOP(ウェブホップ)」の取組を開始します。

これまでから、不登校児童生徒への支援として、通学型の適応指導教室「HOP」(※1)や特認校制度(※2)の導入等を進めてきました。また、各校では家庭訪問や別室登校など様々な支援を行っています。

しかし、近年、不登校児童生徒数は増加傾向にあり、その要因も多岐わたっています。このことから、不登校児童生徒一人一人にあわせた支援が求められています。

今年度については、学校再開後のちも新型コロナウイルス感染症に対する不安から登校していない児童生徒も少ないながらもいます。こうした不安で登校できない児童生徒も学習支援していく必要があることから、「Web HOP」の対象として学びへと向かう環境の選択肢を多様に提供し、子どもたち状況に寄り添ながら支援していきます。

「Web HOP」とは

不登校児童が家庭にしながら、学校の先生と児童生徒の間で、「スタディサプリ」を用いて、一人一人の学習の理解度やペースに合わせた学習支援を行う取組。
オンラインを用いて、教育センターの支援員と面談し、心のフォローも行います。

(※1) 適応指導教室「HOP(ホップ)」

教育センターでの適応指導として週2回(学習とグループ)活動を行う。

昨年度までは中学生を対象としていたが、今年度より小学生も受け入れる。

(※2) 特認校制度(令和2年4月制度導入開始)

地域域の学校に通うことが心的に難しい場合に、田原小中学校に通学し、学習する。

1 対象 小学校4年生から中学校3年生の不登校児童生徒
新型コロナウイルス感染症の不安から登校していない児童生徒

2 学習場所 児童生徒の家庭

・PC・タブレットについては、希望者にはすでに貸出し済み。

3 予算 300 千円

4 参加(申し込み)方法・費用など

・システムの使用料は奈良市が負担。

・学校の教員、対象となる児童生徒本人、保護者の間で学習の進捗を相談しながら進めていく必要があることから三者の同意の上で申し込み。

5 スケジュール

6月19日 校長会で説明

6月22日～ 問い合わせ期間

6月30日～ 申込開始(随時受付可能)

7月6日～ 順次学習開始

6 学習内容・コンテンツ

小学校4教科(国語・社会・算数・理科)、中学校5教科(国語・社会・数学・理科・英語)の授業動画と問題が用意されている。小学校4年生以上に対応し、学年によらない自主学習が可能。

7 不登校児童生徒数

	小学校	中学校	合計
平成30年度	95人	282人	377人
平成29年度	92人	250人	342人
平成28年度	86人	295人	381人
平成27年度	100人	325人	425人

「Web HOP」について

「Web HOP」って？

学校の先生とお子様の間で、「スタディサプリ」（リクルート社）を用いて、個々のペースに合わせた学習支援を行うとともに、はぐくみセンターの「Web HOP支援員」と「G Suite for Education」を用いて面談し、学習面や生活面での相談を行う不登校児童生徒支援です。

「Web HOP」の支援体制

➢リクルート社「スタディサプリ」を使って、先生と課題の内容や量を相談しながら学習を進めます。

本人

➢学習や生活の相談を受けながら、コミュニケーションを取り、人間関係の幅を広げます。

申込み方法は？

学校の先生から様式を受け取っていただき、ご記入の上学校を通じてお申込みください。

学校の先生

➢情報共有を行い、必要に応じて奈良市教育センターでの支援に繋がっていきます。

Web HOP
支援員

保護者と本人の考えが異なるのですが・・・？

「Web HOP」は学校の先生、本人、保護者の中で学習の進捗を相談しながら進めていくことで、効果的な活用となります。申込みの際は、三者の同意のもとで手続きを進めていただきますようお願いいたします。本人にやる気がなく、今後どのようにしていけばいいかわからない場合などは、教育相談総合窓口にご相談いただくことも可能です。

なぜ「Web HOP支援員」との面談するの？

面談を受けることで、学習に関する質問ができたり、学校の先生以外の人とのコミュニケーションを図ることができる貴重な機会となります。